

【NEWS RELEASE】

2021年4月30日

各位

株式会社三井住友銀行

ポエック株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ポエック株式会社（代表取締役社長：采女 信二郎）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ポエック株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 災害対応スプリンクラー消火装置「ナイアス」や、景観配慮型防潮壁「SEAWALL」の提供を通じた防災への貢献、オゾン除菌・脱臭・洗浄装置「ヴォルガ」やポンプ・浄化槽等の提供による安全で衛生的な環境づくり

目標 6 安全な水とトイレ を世界中に	6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減および再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.5 2030年までに、貧困層および脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

- ② 子会社の事業を通じた省エネ・大気汚染防止等への貢献

目標 7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.6 2030年までに、大気の状態および一般ならびにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人あたりの環境上の悪影響を軽減する。

③ 公益財団法人ポエック里海財団を通じた里海の自然・文化の保護

<p>目標 4 質の高い教育を みんなに</p>	<p>4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育および持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和および非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする。</p>
<p>目標 11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>11.4 世界の文化遺産および自然遺産の保護・保全の努力を強化する。</p>
<p>目標 14 海の豊かさを 守ろう</p>	<p>14.a 海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、および海洋技術の移転を行う。</p>

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



送水時に電気を使わない
スプリンクラー消火装置
「ナイアス」



アクリル製透明窓により
海の様子を目視可能な
「SEAWALL」



人にやさしい低濃度オゾンで
快適な環境づくりを実現する
「ヴォルガ」

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。